

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわりきっず		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 1日		R6年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R6年 12月 1日		R6年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	柳沢プログラムに沿った運動療育と静の活動であるフラッシュカードや読み聞かせなどの療育により脳の成長、活性化を促すプログラムを取り入れている。	運動あそびから静の活動への切替を時間やあいさつなど区切りを視覚的に分かりやすく子どもたちに伝え、しっかりと行えるような環境づくりをしている。	子どもたちが参加したくなるような運動あそびの提供を継続して行っていく。
2	集団療育を行うことで小集団に慣れ、社会性を獲得する	家庭、学校以外の社会活動をすることで社会性を獲得する機会を増やしている	集団の中でもスタッフが過度に干渉せず、児童の自主性を尊重し、1人でも出来ることを1つ1つ増やしていく療育を行っていく。
3	専門職による専門的な視点からのアプローチや安全に活動できる空間がある	各専門職員同士が話し合い子どもたち1人1人に合わせた、療育の提供ができるように日々ミーティングを行っている。	親御様に携わる機会を増やし、周知していく取り組みを行い、教室だけでなく自宅でも療育の継続とアプローチの回数を増やしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の異動や退職により、親御様へご不安を与えてしまった。	職員の異動や退職時の親御様へのご説明や対応が不十分であった。	親御様へのご説明や職員の異動や退職があっても今までと変わらない療育、今まで以上の療育の提供をHPやキッズノートなどわかりやすい形でお伝えしていく。
2	マニュアルについて周知・説明が徹底されていない。	マニュアルやその発生を想定した訓練を親御様に周知できていない。	キッズノートや日々の連絡帳、SNSなどの日々の活動を今まで以上に知ってもらえるように発信していく。
3	地域や他事業所との交流がない	地域の催しものには参加しているがこちらからの発信がない。	こまめな計画を立てて、話し合いを繰り返し実現していく。